

2025 年 2 月 17 日

# SDGs 全国子どもポスターコンクール

～7 作品が「セブン-イレブン賞」を受賞～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦、以下「セブン-イレブン」）は、全国の小・中学生を対象とした『2024 年度 SDGs 全国子どもポスターコンクール』に協賛しております。

このコンクールは NPO 法人子ども大学くにたち主催（応募期間：2024 年 7 月 15 日～11 月 15 日）し、SDGs の 17 個の目標から 1 つを選び、その目標を達成するための想いをポスターに描いてもらう内容です。今回で 5 回目の開催となり、セブン-イレブンはコンクールの主旨に賛同して昨年度から協賛するとともに、参加を募るポスターを全国のセブン-イレブン店舗に掲示しました。

本年度は約 6,000 点におよぶ作品応募があり、セブン-イレブンが掲げる「健康」「地域」「環境」「人財」の 4 つのビジョンに基づいて選出した「セブン-イレブン賞」は 7 作品が受賞しました。

今後もセブン-イレブンは未来世代との対話を大切にしながら、SDGs の取り組みを推進してまいります。

## < 概要 >

- コンクール名：2024 年度 SDGs 全国子どもポスターコンクール
- 主催：NPO 法人子ども大学くにたち
- 協賛：株式会社セブン-イレブン・ジャパン 等
- 応募総数：約 6,000 作品
- 受賞作品：全 65 作品（「セブン-イレブン賞」は 7 作品）
- 受賞式日程：2025 年 2 月 16 日（日）



▲伊藤謝恩ホールにて

## < 「セブン-イレブン賞」受賞作品 > ※受賞者のコメントより引用



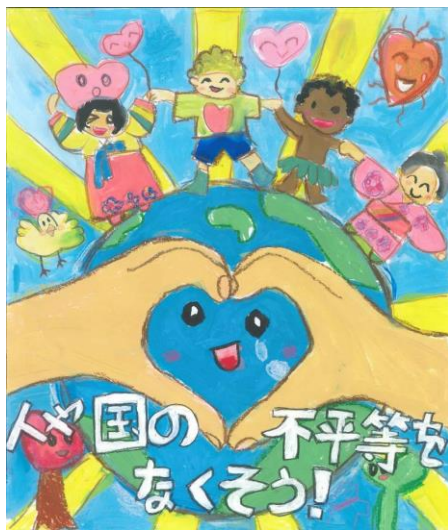
工夫した点は人々を布で包み込むことで、守られているような優しさを表現したことです。

（中学 2 年）



だれでもきれいな水が使えるように、助けあっていける世界になってほしい気持ちを表現しました。

（小学 4 年）



人びとが、不平等をなくして、  
皆が仲良く愛しましょう。  
(小学 3 年)



ちきゅうがよごれているのがいやなので  
ちきゅうをうちゅうひこうしがそうじて  
いるところをかきました。  
(小学 3 年)



海の色を目立たせるため周りの色を  
暗くし、絵の構図を工夫しました。  
この作品で頑張ったところは手です。  
(中学 3 年)



この絵は人の手によって森林伐採が  
行われていて、陸の豊かさが失われ  
ていく様子を表したものです。  
(中学 2 年)



私は、人種を越えた助け合いという  
考えが思いついたのでこのような絵  
にしました。  
(中学 1 年)